

# みなとしみず

国土交通省中部地方整備局  
清水港湾事務所  
御前崎港事務所/下田港事務所/田子の浦港事務所  
静岡市清水区日の出町7番2号  
TEL. 054-352-4146(代表)  
<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

## 平成23年度 清水港湾事務所直轄事業の概要

### ～ 清水港湾事務所は、「安心して元気な日本」をつくります ～

日本有数のものづくり地域・静岡に立地する産業の元気は、生産・雇用・所得等に直結した“日本経済の元気の源”です。主要産業の輸送効率化を図る「港湾骨格基盤の提供」により“日本経済の元気”を支えます。

また、国際輸送にはテロ対策が必須な世界情勢であり、大規模自然災害への対応も国家的な課題となっています。「保安対策の検査」や「ハード&ソフト両面の防災対応」を通じて安心な日本を維持します。

### 清水港

(事業費：約34.8億円)

新興津地区国際海上コンテナターミナル整備事業

(当初目標 平成27年度完了、岸壁及び泊地 平成24年度完了)

清水港に入港するコンテナ船の大型化に対応し、“潮待ち”などの非効率を解消するため、現在供用中の新興津コンテナターミナル第1バース(耐震強化岸壁)に隣接して、新たに第2バース(耐震強化岸壁)を整備しています。

今年度は、岸壁及び防波堤の設置工事で泊地浚渫工事を行いません。



### 田子の浦港

(事業費：約23.0億円)

中央地区国際物流ターミナル整備事業(耐震改良)

(当初目標 平成24年度完了、岸壁 平成22年度完了)

田子の浦港中央地区岸壁は、田子の浦港の取扱貨物量の約40%を扱う中心的な岸壁ですが、老朽化が進み、船舶の大型化に対応できず背後企業の荷が他港から陸送されるなどの非効率な状況が発生しているため、現在大型化対応の整備を進めています。

このうち、耐震強化岸壁(地震災害時に緊急物資輸送に活用可能)については既に完成・共用しており、今年度は航路・泊地の浚渫(しゅんせつ)工事を進めます。



# 御前崎港

(事業費：約4.8億円)

御前崎港内の静穏度確保のための防波堤整備

(再評価時目標 平成26年度完了)

御前崎港女岩地区では既に国際物流ターミナルが供用しており、コンテナ船や自動車運搬船が利用しています。

より一層の利便性や安全性確保のため、港内の静穏度を高める防波堤整備を推進します。



# 下田港

(事業費：約5.9億円)

船舶の避泊面積の拡大および津波防護のための防波堤整備

(再評価時目標 平成30年度完了)

下田港は、周辺海域が複雑な地形と厳しい海象条件のため海難事故が多発する海域であり、古くから海の避難場所(避難港)として利用されています。

現在進めている防波堤整備は、避泊船舶を守るためだけでなく、大規模地震による津波から背後の住民や財産を守る津波低減効果も見込んでいます。防波堤の整備にあたっては“国内有数の大水深(水深40m)”かつ“海象条件が厳しい”という現場条件ではありますが、安全に施工を実施してまいります。



事業費については、4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算及び施設費について5%程度の執行留保の方針が示されているため、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなります。

## 〈新年度のあいさつ〉

清水港湾事務所長 奥田 薫

今年度から、事務所業務の目標キャッチフレーズとして「安心で元気な日本」を掲げました。事務所職員が国の港湾行政官としての意識を高めることもさることながら、東日本大震災の状況も踏まえ、国の出先機関として、我が国産業の元気を支える仕事とともに、安全の確保に基づく安心を維持すること、これにも今まで以上に重点を置くとの意図を含めたキャッチフレーズです。

国際物流は、効率化とともにテロ対策等の安全の確保といった両立が不可欠な世界情勢であり、その意味でも安全の確保に基づく安心の維持は極めて重要です。こういった意識のもと、本年度も職員一丸となって港湾行政に取り組んで参ります。よろしくお願いいたします。

## 海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル

おーいに よくなれ みなと

# 0120-497-370

受付時間：9時30分～12時、13時～17時(土・日、祝祭日は除く)  
☆携帯電話・PHSからもご利用できます☆

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

その他、海とみなとに関することは何でもお問い合わせください

## ■本紙に関するお問い合わせ先■

清水港湾事務所 企画調整課

白崎・板谷 Tel. 054-352-4148

ご意見ご感想をお寄せ下さい。

shimizukouwan@pa.cbr.mlit.go.jp